

問題

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

かのガリレオがふりこの法則を発見したのは、次のような(ア)はなしからでした。一五八三年、イタリアのピサの(イ)教会でのことです。じっと天井を見つめているひとりてんじょうの①青年がいました。十九才のピサ大学の学生、ガリレオ・ガリレイです。

ガリレオは、天井からつりさがっている、きらきら②かがやくひときわ大きいランプをひたすら見つめました。ランプは、右に、左に、ゆっくりとゆれていきます。

「あのランプのゆれは少しずつおさまってきている。しかし、③あれが一往復する時間はいつも同じように感じる。」

「一往復する時間を(ウ)計るにはどうしたらよいのだろうか。」

それからというものガリレオの頭の中は、ランプのゆれのことばかりとなりました。そんなある日、ガリレオはひらめきました。

「そうか。みやく拍はくの回数でランプが往復する時間を計ってみればよいのでは！」

ガリレオはその(エ)ご、ランプのかわりに、ひもにもりをつり下げた「ふりこ実験器」を作り、研究を重ねました。④、「ふりこの法則」を発見したのです。

問一

本文中の線部について、漢字の読みをひらがなで、ひらがなは漢字に直して□に正しく書きましょう。送りがなが必要なものは送りがなも書きましょう。

(ア) はなし

(イ) 教会

(ウ) 計る

(エ) ご

問二

本文中の線部①「青年が」は主語です。この主語に対する述語じゅつごを書ききましょう。

問三

本文中の 線部②「かがやく」は修飾語しゅうしごです。この修飾語がかかる言葉ひ(被修飾語)を次の中から選んで○をつけましょう。

ひときわ 大きい ランプ

問四

本文中の 線部③「あれ」は指示語しじ(こそあど言葉)です。この指示語が指す内容を本文中の言葉で書きましょう。

問五

空らん ④には、つなぐ言葉せつご(接続語)が入ります。次の中からあてはまる言葉を選んで○をつけましょう。

また そして しかし

問六

この文章には、いくつの形式段落だんらくがあるでしょうか。段落の数を漢数字で書きましよう。

段落

問七

この文章の一段落目だんらくにはどんな役割やくわりがあるでしょうか。次の中から最もあてはまる言葉を選んで○をつけましょう。

具体例 理由の説明 話題の提示ていじ 結論けつろん